

玉造町報 たまフイリ

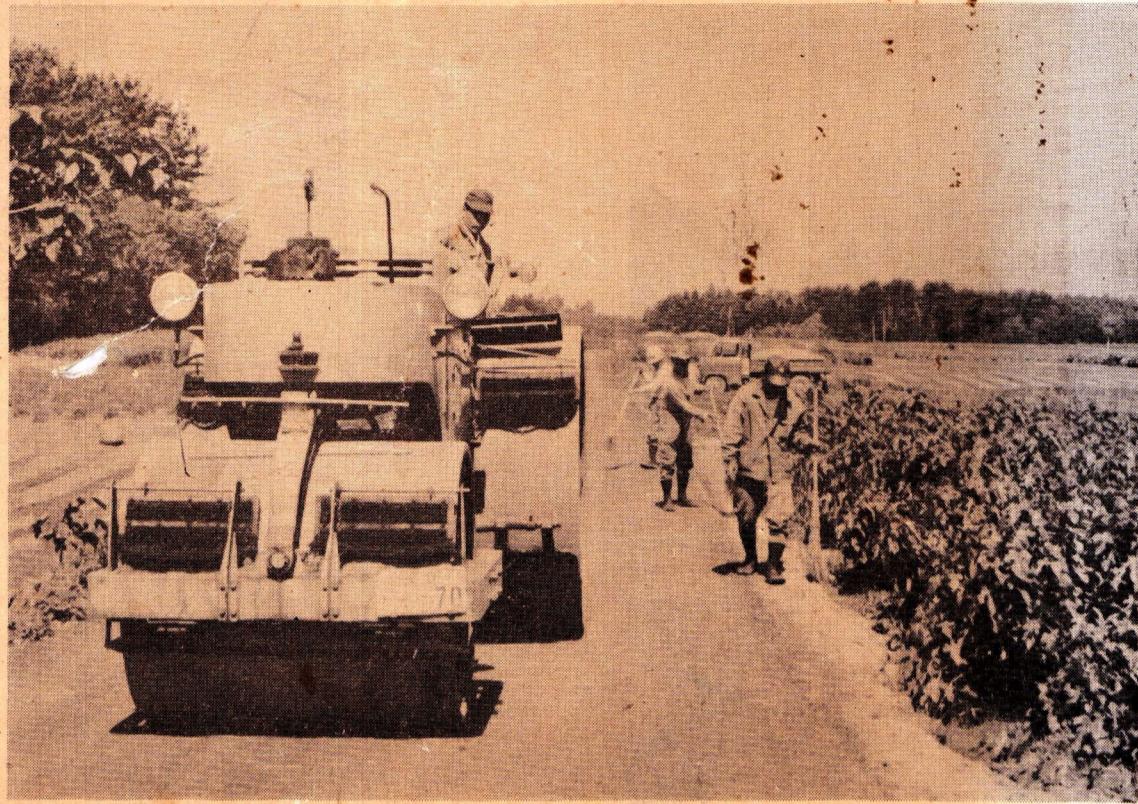
3月 No.143

28日	25日	23日	20日	19日	17日	13日	11日	8日	6日	4日	3日
農協合併組合会議	建設常任委員会	農協合併組合会議	臨時議会	参議院議員補欠選挙	ハウス組合竣工式	建国記念日	行方郡町村会定例会	行方台地縦貫道路役員会	婦人議会	非常勤議会	例月出納検査
玉造町一周駅伝大会	農協合併推進協議会	企業誘致委員会	農業委員会総会	農業委員会総会	農業委員会総会	農業委員会総会	農業委員会総会	農業委員会総会	農業委員会総会	農業委員会総会	農業委員会総会

昭和47年3月10日（毎月1回発行）編集玉造町役場 発行人 町長 坂本常蔵 印刷所 さんゆう社印刷 定価 10円 昭和38年1月23日第三種郵便物認可

機動力ではかどる

すすむ町道舗装工事



町道の舗装がいま急ピッチですすめられて
部落間の主要町道のうち、3月末日現
の予定です。

舗装 最後の仕あげにはローラーが活躍

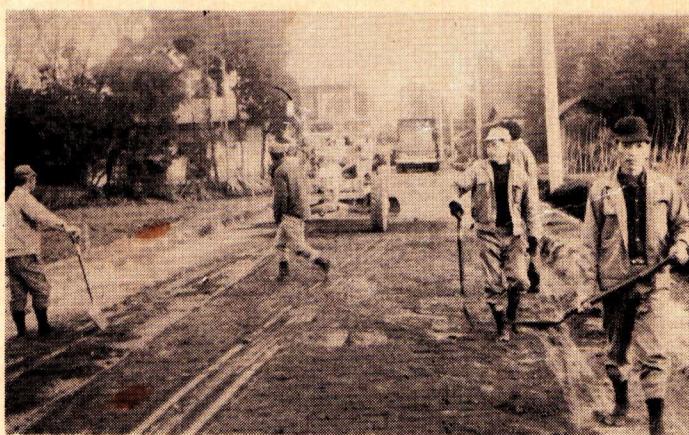
主要町道の舗装とあわせて農道の舗装もす
み畑の中を舗装道路がひいています。
農道を整備して
耕作、運搬の近代
化に適合させるこ
とが、これからは
要求されるでしょ
う。

主要町道の舗装
は建設課、農道は
企画課で事務を担
っていますが、
それでも道路をよ
くするための計画
をすすめています。
農道の完成地区
は下表のとおりで
す。

おととしからはじめられた町の直営舗装工
事も軌道にのり町の機動力で道路の維持補修
工事や簡易舗装がはかどっています。
本年度の重点事業のひとつ「生活基盤の整
備」としてとりあげられた道路の直営舗
装工事は、今年度分計画の一萬メートルのう
ち約六%が完了し、今年度分を消化しまし
た。工事は、業者と町直轄の二本立て行なわれ
ていますが直営工事ではローラー、ショベル
グレーダーなどの町の機動力が活躍していま
す。

町道の総延長は約五十九万八千㍍ですが、
そのうち部落と部落をつなぐ主要町道は約五
万メートルですから、ことし分の舗装が終わ
ると約七割が終わったことになります。
これらの工事は実施した部落の人たちの用
地の無償提供（せまい道を四メートル以上に
するための拡巾用地）などの協力があつて実
施されたものです。

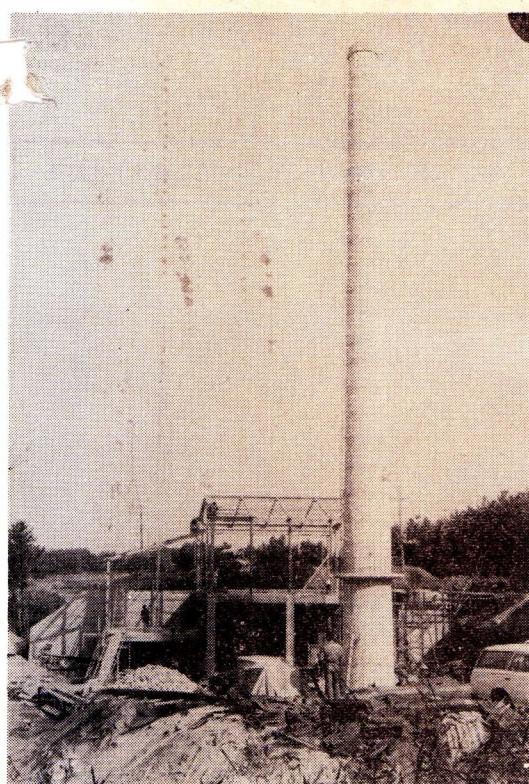
工事は、業者と町直轄の二本立て行なわれ
ていますが直営工事ではローラー、ショベル
グレーダーなどの町の機動力が活躍していま
す。



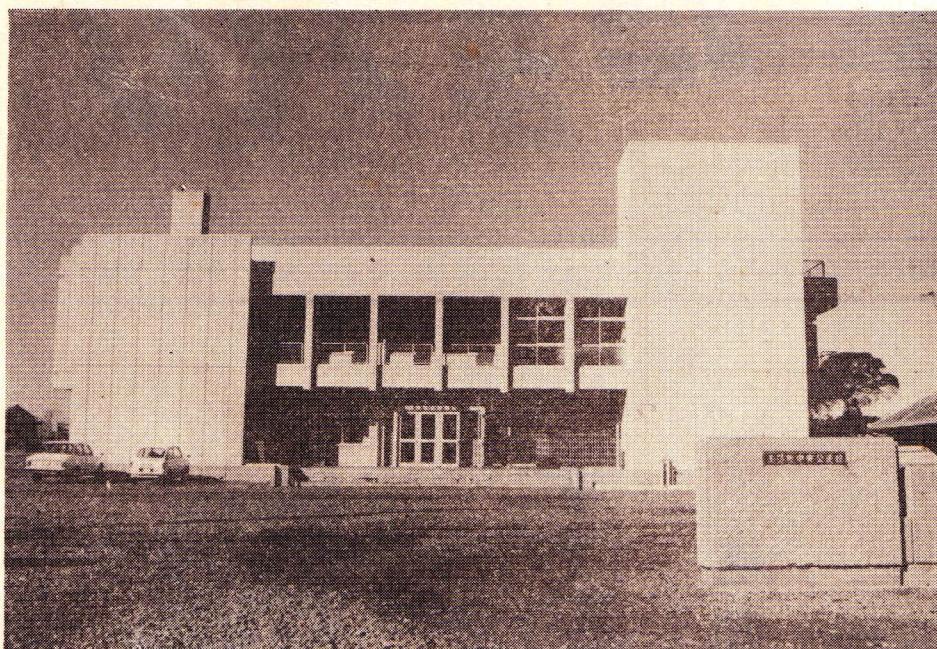
改良道巾が拡巾され、やがて舗装に

道路舗装完成地区

部落	延長	巾
	m	m
藤井	1,119	4.0
西蓮寺	1,014	4.0



ごみ処理場（麻生町・北浦村・玉造町共同）



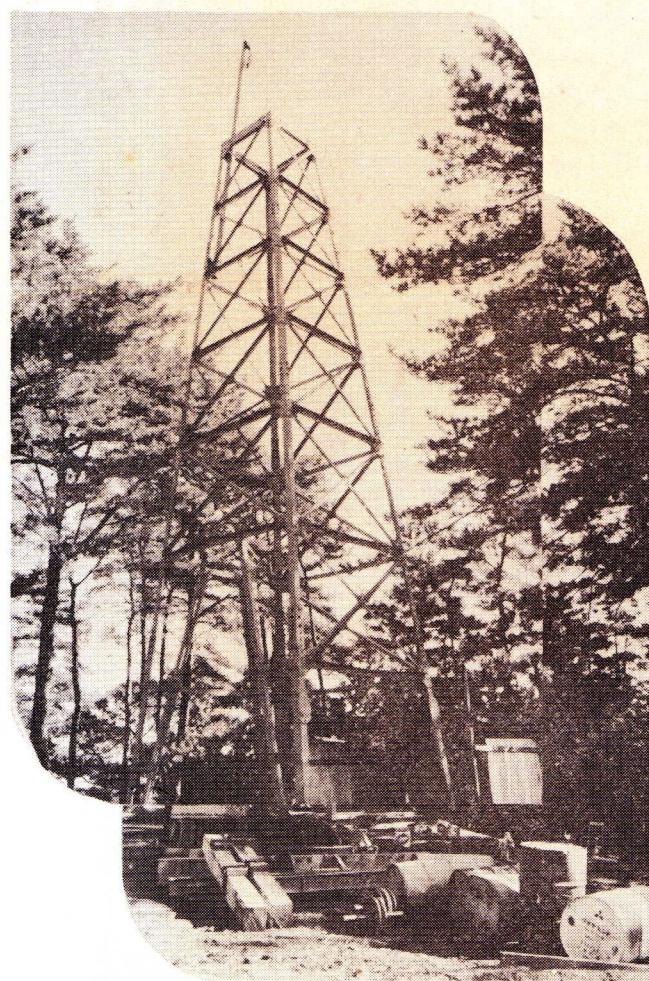
玉造町中央公民館

46年度 建設のすがた

昭和四十六年度は、生活を向上させる町政をめざして町づくりをすすめてきました。市民のみなさんが生活を楽しむことのできるよう自由に、そして十二分に活用できる施設を、またづくりのための学校建設をすすめ入りました。

ここでは、そのなかの主なものを掲載してみました。

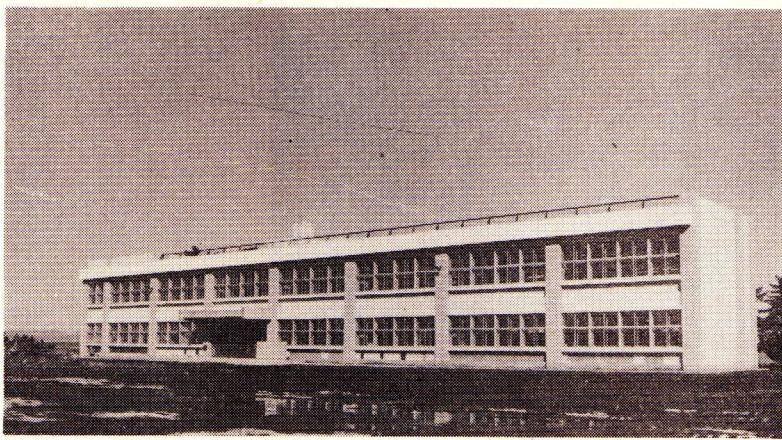
なお、これは二月末日に撮影したものですか
ら年度末の三月末までには、もゝと工事や整備
がすすむことでしょう。



簡易水道事業ボーリング（谷島）



町民プール



浜 小 学 校

このように、つねに他の車のようすを觀察していると、大型トラック、トロリーバス、郵便車などそれぞれに特有な走り方や行動のくせがあります。

これらを、できるだけ早くじゅうぶんに理解し、それぞれに適合した応対をしながら走る技術を身につけなければなりません。

それぞれの行動の特性から、自分の車の行動を割り出して、安全な環境をつくりながら走れるようになれば始めたものです。

まが花心者の道転する車は 徒
続車のことを考る余裕がなく急
に車線を変えたり、あるいは右左
折のため急ブレーキをかけたとい
う唐突な行動をしがちです。
また、びったりと車間距離をつ
めてせかせかと追従してくるトラ
ックなどは、とかく無理な追越し
をかけてきたり、前に割りこんで
きます。

走行中に前後左右の車の走り方のくせや性質を見ぬいて、それぞれに適合した応対をしながら走る

安運



考え方と方法 (15)

来月号から新しい

雑誌型に変る広報紙

4月号から広報たまつくりのスタイルが新しくなります。今までのタブロイド版の大きさから、その半分のB4版になります。

いわゆる雑誌型で、以前の広報と同じになります。

町の広報紙が茨城県の広報コンクールで入選しました。このコンクールは、県内の市町村で発行・制作した広報紙や、広報写真、有線放送、映画を審査するものですが、町では、広報紙の部門に参加し、入選となつたものです。また、今回の入選は、昨年にひ

4月号から広報たまつくりのスタイルが新しくなります。今までのタブロイド版の大きさから、その半分のB4版になります。

いわゆる雑誌型で、以前の広報と同じになります。

ページ数は現在の四ページから八ページになり、話題豊富な紙面になりました。大きさが変わると同時に、内容も、みんなの声を多くとり入れるような紙面にしたいと思います。ふるってご寄稿ください。に愛読していただけるでしょう。

発行日は変わりなく今までどおりの十日になります。また、活字を一ポイント大きくして、みんなが読みやすい大きさにしました。小学生からおとしよりも、ふるってご寄稿ください。に愛読していただけるでしょう。

浜小学校は二月に完成し、三月一日から児童が新しい校舎で勉強をしていますが、浜部落の児童が新校舎へ通学するのに交通量の多い県道を渡らなければなりません。

下は安全：

頭のうえをダンプが走っても

「児童を安全に」のねがいのもと

すい道の設置場所は、浜小学入

口のところでここは、カーブのう

え坂になっているところから、横

断に危険をきわめていたところで

す。児童を安全に」のねがいのもと

